



# いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!

Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 60

平成30年3月14日

## 卒業式



10日(土)、多数のご来賓の皆様や保護者・地域の方々の出席をいただきながら、平成29年度卒業式を挙行了しました。卒業生はもちろんですが在校生の心も一つになり、卒業式を感動的に成功させてくれました。今年度における本校学校運営の集大成の一つでもあります。出席された皆様からも、「すばらしい感動的な卒業式でした」と感想をいただきました。卒業生全員に卒業証書を手渡しできたことを嬉しく思います。

私は、式辞として、3年生の耀り輝く数々の活躍を紹介しました。そして、「君たちはどう生きるか」の一節をはなむけの言葉として贈りました。ブリアナ先生に英訳していただき、英語でも贈りました。



僕たちは、自分で自分を決定する力がある。

We have the power to decide things for ourselves.

だから、誤りを犯すこともある。

Because of this, sometimes we fall down and make mistakes.

しかし、僕たちは、自分で自分を決定する力がある。

But, we have the power to decide things for ourselves.

だから、誤りから立ち直ることもできるのだ。

We are the ones who decide if we stand back up again.

人間は、言葉を通して考え、行動しています。だから感銘を受けた言葉は、人間の考え方や行動も変えていくことがあります。また、同じ言葉でも、話した人によって感じ方も違ってきます。冬季(ピョンチャン)オリンピックがありました。それぞれの言葉に感動しました。苦勞してるから、難儀してるから出てくる言葉ですね。いろんな人と出会い、いろんな経験をして、心で感じ、たくましく生きていって欲しいと思います。

We have the power to decide things for ourselves.

私たちには、自分で自分を決定する力があるのです。

これからは、さらに辛い問題や課題があるかもしれませんが。皆さんがどこにいてもどこを見ているでも、皆さんの親や家族、学校の先生、担任、多くの人たちが見守っています。遠くは、沖縄から見守ってもらっています。自分で自分を前向きに決定して、果敢に進んでいってください。皆さんなら、もう四つのCHと『氣力』をもっているのだから乗り越えられます。『意和氣の力と心』でチャレンジです。

というような言葉を贈りました。

卒業生の保護者の皆様、これまで、3年間にわたり、本校の教育活動の推進に対し、特段のご理解とご支援を賜りました。本当にありがとうございました。卒業式にご臨席賜りましたご来賓の方々、そして、かかわりのあった、全ての方々にも、改めて敬意を表しますとともに、お礼を申し上げます。

送辞(抜粋)在校生代表 \*\*\* \*\*



ところで、私は今、少し複雑な気持ちでもあります。なぜならば、私たち在校生にとって皆さんは、常に道しるべであり、あこがれでした。どんな時でも力強く歩み続け、私たちを導いて下さった皆さん。私たちの支えとなり、頼れる存在でした。皆さんと別れなければならぬと思うと、心細さ、不安、そして、寂しさがこみ上げてきてしまいます。今皆さんは、どのように岩城中学校での日々を振り返っているのでしょうか。きっとたくさんの思い出が、脳裏を駆け巡っていることでしょう。

春。大運動会が行われました。先輩方の気迫あふれるプレー。そしてクラスの団結力。そのどれもが私たちを魅了し、「今年こそ先輩の背中に追いつこう。」と、頑張った私たちは、さらに皆さんの凄さを思い知りました。

秋。岩中祭では、お客様を楽しませようと、一生懸命おもてなしをされていました。各部門の活動では、私たちが良い方向へ導いてくれた皆さん。そしてそれが、一つになっていく感動。皆さんと一緒に創り上げることができたことは、今でも忘れられません。そして、全校で創り上げた岩中祭でのお客様の笑顔を見たとき、感情が押しえきれないぐらいうれしくなりました。そして何より、3年生の団結力とお客様の笑顔が、岩中祭の成功を物語っていたと思います。

また、行事だけでなく、部活動においても、その栄光が、岩城中学校を活気づけました。日々の練習でも私たちの先頭に立ち、全力を尽くすその姿勢から、たくさんのことを学びました。先輩方と過ごした日々は、私たちの宝物であり、かけがえのないものです。先輩方と流した汗、涙は、私たちにとって本当に大切なものです。全力で日々の練習に向かった姿勢は、皆さんにとって意味のあるものになったはず。と同時に、将来に向かって歩む上で、とても大きなエネルギーの元になったと思います。これから様々な困難があるかもしれませんが、岩城中学校で過ごしたこの日々を、どうか忘れず、自分を信じて力強く、歩み続けていってください。

日常生活においても、「勇往邁進」のスローガンのも

と、何事にも恐れず突き進み、私たちを導いて下さいました。日々行い続けてきた岩中三本柱。皆さんはここでも手本を示して下さいました。黙想では遅れないよう、互いに声を掛け合う姿。自問清掃では、注意をし合い、全員でただひたすらに取り組む姿。全校武道では、どの学年よりも声を出し、緊張感のある場を創り上げてくれました。このような姿から私たちは、多くのことを学びました。これが岩中生のあるべき姿なのだと思います。皆さんが私たちに伝えてくれた伝統。これを後輩たちに伝えていけるか、少々不安なところもありますが、伝統を守るために、先輩方の姿を見習い、頑張っていきます。

こうして振り返ってみると、私たちはどれぐらい皆さんに支えられてきたのか、改めて知ることができました。でも、私たちも、弱気なことばかりを言っている訳にはいきません。私たちは学びました。間近で見、凄さを感じました。常に突き進む姿勢を見てきました。

今、先輩方は巣立とうとしています。そんな先輩方が安心して巣立っていけるよう、私たちは皆さんを目標に、そして、岩城中学校の顔となれるよう、堂々と振る舞い、そして皆さんを越えられるよう、精一杯努力します。今まで皆さんがつなげてきた岩中の伝統を守り、さらに発展させていきます。

改めて言います。皆さんは私たちのあこがれでした。これからもそうあり続けてください。

いよいよお別れの時となりました。今後の皆さんの、益々のご活躍と、輝かしい未来を、心からお祈りし、送辞といたします。

### 答辞(抜粋)卒業生代表 \*\*\* \*



大きめの制服に袖を通し、期待と不安を抱いて迎えたあの入学式から、3年が経ちました。この3年間、先生方や両親、たくさんの人々に支えられ、ここまで来ることができました。

第36期生徒会は、「勇往邁進」のスローガンの下、岩中生一人一人が自分たちの目標に向かって努力できるようにと活動を続け、全校一丸となって様々な行事に取り組んできました。岩中祭では、地域の方々に喜んでいただけるような工夫を凝らし、恒例の「逸品食堂」や「チャリティーマーケット」、大人気の「吹奏楽演奏」、美術部の「体験コーナー」など、時間をかけて準備してきました。また、今年度は、「お楽しみコーナー」や生徒が脚本を手がけた「演劇発表」など、新たな取り組みもありました。お客様をお迎える玄関や階段を飾り付けた「展示装飾部門」、心を込めておもてなしをした「特別招待」の生徒の支えがあり、岩中祭を成功させることができました。

部活動でも、日々仲間と共に練習に励み、各部活で華々しい記録を残しました。先輩と後輩が互いに声を掛け合い、高め合う姿は、とても輝いていました。たくさんの汗と涙を流し、たくさんの悔しさと喜びを分かち合った思い出は、これからの人生の大きな支えになり、ずっと心に残り続けることでしょう。

私たちが3年間で得たものには、岩中の三本柱の黙想

・自問清掃・全校武道で磨かれた力もあります。常に自分と向き合い、自分がすべきことを考える思考力、礼節を重んじることの大切さなど、多くのことを一日一日の積み重ねから学びました。これらの力は、ここにいたからこそ、身に付けることができたものだと思います。

在校生の皆さんには、本当に様々な点で支えてもらいました。皆さんのおかげで、大きく前進できたこともありました。私たちは、皆さんの目標となる先輩であったのでしょうか。ぜひ、岩中の伝統、「岩中生らしさ」というものを、これからも大切に受け継いでいてもらいたいです。



普段は、怒らせてしまうことが多かったけれど、誰よりも真剣に私たちと向き合い、誰よりも優しく私たちを見守りご指導くださった先生方。たくさんのご迷惑とご心配をおかけしました。私たちが、今こうして晴れ晴れとした気持ちで卒業できるのは先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

そして、今までずっと私たちの隣で応援し続けてくれた家族。生意気な態度をとっても、心配をかけても、いつも変わらず見守ってくれました。その大きな心の支えが、何度、前に進む勇気をくれたか分かりません。これからもお世話になりますが、どうぞよろしく願います。

第36期生の皆さん。皆さんは、今、どのような気持ちでその場に座っているのでしょうか。それぞれが様々な思いを巡らせていると思います。それだけたくさんのごことがあった3年間でした。喜びや悲しみ、不安や期待を分かち合いながら進んできた3年間は、今、皆さんの目にどう映っているのでしょうか。その道のりを経て、胸を張っていられるものであったなら、これから別々に歩いていく道でも、きっと、困難に立ち向かうことができるでしょう。3年間、共に歩いてくれてありがとう。今日、この日まで一緒にいてくれてありがとう。

これからは、自分で決めた道を進むことになります。岩城中学校の教えと思い出、そして「決して一人じゃない」という想いを胸に、自分の目指す未来へ向けて勇ましく進んでいきましょう。

最後になりますが、岩城中学校のさらなる発展と、皆様のご多幸をお祈りし、答辞と致します。



卒業  
おめでとう